

2024  
4/27

SAT.

-6/2

SUN.

10:00-19:00

※入場は18:45まで

会場  
藤沢市アートスペース

JR辻堂駅から徒歩5分

月曜日

ただし、4月29日(月・祝)、  
5月6日(月・振休)は開館、  
4月30日(火)、5月7日(火)は休館

無料

観覧料



梶原の家で 1980年(作家提供)

右:熊坂兌子《核兵器廃絶平和祈念像》(部分)  
大理石 1995年 奥田公園前広場(鶴沼東7)  
撮影:熊野淳司  
左:サール・シュワルツ  
《FRACTURED RECTANGULAR》(部分)  
アルミニウム 1978年

# La Vita

ラ・ヴィータ

Kumasaka Naoco  
Sahl Swarz

令和6年度企画展 | 熊坂兌子サール・シュワルツ作品展

# la vita

ラ・ヴィタ

このたび、藤沢ゆかりの彫刻家、熊坂兌子とサール・シュワルツの作品を紹介する展覧会を開催します。2023年に藤沢市が新たに収蔵した立体・平面作品を中心に、市内にあるパブリックアートも織り交ぜながら、その制作活動に触れていきます。

アメリカで出会い、その後長年にわたり日本とイタリアを往来しながら作品制作を続けた2人。その礎となったのは、おおらかで自由な発想と、素材や技法への飽くなき探求心、そして互いへの愛情と作家としてのリスペクトではないでしょうか。大理石やアルミニウム、ブロンズなどのさまざまな作品を通して、夫婦であり、芸術家としてのかけがえのない同志でもある2人の人生-la vita-が垣間見えてきます。

\*la vita…イタリア語で「人生」「命」の意味。



《デミター(豊かな実りをもたらす女神)》ステンレス 1990年 長久保公園(辻堂大平台 2-13-35)



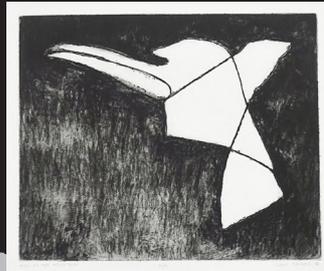
《ANCESTOR(祖先)》大理石 1984年 撮影:サール・シュワルツ

熊坂兌子

Kumasaka Naoko

Sahl Swartz

サール・シュワルツ



サール・シュワルツ  
《BIRD ON THE MOUNTAIN》  
紙、エッチング 2000年



熊坂兌子《Composition in pink》  
紙、シルクスクリーン 1974年



## くまさか なおこ 熊坂 兌子(1933-)

横浜市に生まれ7歳から藤沢市で育つ。東京藝術大学芸術学科卒業。母校である藤沢高等女学校(のちの藤沢高等学校)ほかで美術教師として勤めながら、制作活動を行う。1966、68年に神奈川県展で受賞。1970年に単身渡米、ニューヨークで彫刻を制作。ニューヨーク・スカulptチャー・センターのメンバーとなり、展覧会に参加。1978年にサール・シュワルツと結婚。大理石の持つ自然の風合いを生かした作品を多く手掛けている。市内には《核兵器廃絶平和祈念像》ほか数点の作品が設置されている。

### 関連イベント

#### ●トークセッション

熊坂兌子さんと茅ヶ崎市美術館・小川稔館長が、展示作品やこれまでの制作についてお話しします。  
2024年5月12日(日) 13:00-14:30  
定員30名 参加無料(要事前申込)

#### 申込方法

電話、E-mail、または直接来館してお申し込みください。一回の申し込みにつき2名まで。定員に達し次第受付終了。

#### ●ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説です。  
2024年4月27日(土)、5月25日(土)  
14:00-15:00 参加無料(申込不要)

## サール・シュワルツ(1912-2004)

アメリカ・ニューヨークのブルックリンに生まれ、クレイ・クラブ(のちのニューヨーク・スカulptチャー・センター)に参加。人体塑像や記念碑制作を学び、記念騎馬像(ニューヨーク州バッファロー)などの作品を手掛けた。第二次世界大戦に写真報道班として従軍、除隊後はアメリカとイタリアで制作活動を行いながら、コロンビア大学(ニューヨーク)他で彫刻を指導。1978年に熊坂兌子と結婚し、鎌倉へ移住。長久保公園のモニュメント《デミター》を制作。晩年は銅版画や油彩画にも取り組み、92歳で亡くなるまで精力的に制作を続けた。

### 交通案内

【電車】JR「辻堂」駅東口改札北口出口から徒歩5分

【バス】神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ

FASに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

藤沢市アートスペース

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-2

Cocco Terrace 湘南 6階

TEL 0466-30-1816 E-mail fj-art@city.fujisawa.lg.jp

HP <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS>

